

ハンセン病問題を考える～「資料集」発行その後

教育総研から総研ニュース No24「ハンセン病問題学習資料集」を発行して3年が経過しました。この間、夏の「授業を創ろう In Summer」の中で「ハンセン病問題学習」特別分科会を開設し、資料集をもとにとりくんだ実践報告から学ぶ機会をもってきました。また、授業実践も県内各地に広がってきています。

資料集発行後も、ハンセン病回復者やその家族への差別を解消し、人権を取り戻すとりくみが進んでいます。中でも菊池事件や家族訴訟の判決は大きな教育課題を示しています。今回の学習では、資料集を作った経緯から始まり、ハンセン病問題の基本的な学習を前半に、後半は菊池事件や家族訴訟について学習します。初めてハンセン病問題について学ぼうという方も大歓迎です。また新たな課題を実践につなごうという方の参加もお待ちしています。

○期 日 2020年11月29日（日曜日） 12:30 受付開始 13:00～16:30

○会 場 福岡県教育会館 3階 第1会議室

○参加募集人数 50人

○内容 ①ハンセン病問題の基礎学習
 提起 高濱 俊雄さん（教育総研研究員）
 ②菊池事件、家族訴訟の判決の意義と差別解消への課題
 提起 島 翔吾さん（弁護士）

○参加費 無料

○申込み ・別紙にてのFAX、もしくはメールでの申し込み
 ・各組合の支部から申し込み

※ 福岡県教職員組合・福岡市教職員組合・北九州市教職員組合の組合員でない方は、同じ学校の組合員に気軽に声をかけてください。未加入者の参加も大歓迎です。

○その他 今年の総研セミナーは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、開催は一回のみとします。フィールドワークは行いません。

ハンセン病問題を考える～「資料集」発行その後

参加申し込み

お名前	職場	学校電話番号	携帯電話番号

通信欄

教育総研 FAX 092-631-0916

メールアドレス info@f-soken.net

申込み締切 定員の50人になったら締め切ります。お早めをお願いします。

お問い合わせは 教育総研電話番号 092-631-0915まで